

農学部学習相談室（ピアサポート） 学生サポーターの体験談 ～第1号～

早くも、6月が近づいてきました。
この時期に皆さんが気になる、**中間テスト**や**研究室配属**をテーマに、
学生サポーターからの体験談をご紹介します！ぜひ参考にしてください。
詳しく知りたい方は、ぜひ学習相談室にお越しください！！

1 「コロナ禍以前の経験をふまえた！？試験対策」

「授業中に授業以外のことに意識を割いてみよう」

80分の授業、「覚えるぞ！」と意気込んでずーっと集中して聞いていても、だんだん疲れてきて、頭に入ってこなくなりますよね。特に対面授業はオンラインと違って周りに人がいますから、余計に気を張って疲れやすい気がします。ですからただ先生の話している内容がもう理解できて、頭が煮詰まってきたなあと思ったら、先のスライドをペラペラめくってみたり、覚えづらい単語の語呂合わせをオリジナルで考えてみたり、前回のノートを見返して「ふーん」って思ったり…**こんな感じで別のことに意識を向けてみると、意外と本筋の授業がスッと頭に入ってきたりしますよ。リラックスして授業を受けることが肝心だ**と思います。
(生物生産科学コース M2)

私が大学に入学してから今までで、試験対策として良かったなと思ったことを紹介していきたいと思います。

・教科書は何冊も読む

講義で指定されている教科書が難しく1冊読んだだけでは理解が出来ないことがあります。その時は大学の図書館に行って関連する本を探すようにしています。何冊か見てみると分かりやすく解説している本が見つかったりするので本当にオススメです！！

・勉強会を開く

オンライン、対面問わず何人かで集まって同じ講義の勉強をするのは大事です！課題するときとか小テスト前でも良いと思います。自分が理解できているか知る機会にもなるし、わからないこともすぐに聞くことが出来ると思います。
(食農情報工学コース M2)

私は今学部3年生で、入学した時からちょうどコロナ禍でした。そのため、それより前のことについて書くことができないのですが、2年生の頃から対面の試験が増えたのでそのために私がやっていたことを書きます。

①まず最初に、シラバスや初回授業の資料などに書いてある、**成績評価の方法について目を通しましょう**。期末試験100%の授業もあれば（中間50%+期末50%）の授業や（レポート20%+出席10%+期末70%）など様々だと思います。

②次に**自分が目標とする成績を決め、それに必要な点数を計算しましょう**。例えば（レポート20%出席10%期末70%）の授業でSを取りたいなら90%以上の評価が欲しいわけですから、レポートで満点を取り毎回出席するつもりなら試験で86%くらいの点数を取れば良いとわかります。レポートで満点を取る自信がないならもう少し試験で点数を取れば良いですね。

③あとは決めた目標を目指して勉強します。先生が過去問をアップロードしてくださっているなら、それは先生からの「これを使って勉強してね」というメッセージなので過去問の答えを覚えるレベルで勉強しましょう。過去問以外だと、授業内で扱った練習問題や、先生が要点としてくれていたところをルーズリーフ数枚にまとめて直前に頭に叩き込むと良いです。私の場合は**試験前日の夜にノートを作って通学中の電車内で暗記しています**。

最後に、単位は落としても再履修できます。あんまり試験を深刻に捉えすぎず、まずは大学生活を楽しんでください！
(応用生物科学科 3年)

「学生サポーターの、“この研究室に決めた理由”と後輩へのアドバイス」



共同獣医学科の研究室決めにおいて大事なことは「研究室に直接足を運ぶこと」と「ある程度将来やりたいことを考えて臨むこと」の2点かと思います。

一つ目についてはどの学科でも通ずることかと思いますが、直接話を聞くことがその研究室を理解するのに最適だからです。研究室の名前から想像しただけでは案外実態を掴めません。教員や学生から実際の研究室活動について詳しく聞き、自分のやりたいことができそうか判断してください。

二つ目は個人的にはかなり重要です。というのも、共同獣医学科においては所属する研究室が人生を大きく左右し得るからです。研究室は大きく基礎系と臨床系に分かれますが、基礎系の中でも製薬会社と太いパイプがある、臨床系の中でも腫瘍の外科というようにそれぞれの研究室の強み・専門分野があります。そのため、取り敢えず基礎系（臨床系）という選び方をするとやりたいことにつながらない可能性があります。よって、基礎系と臨床系のどちらを選ぶにしても、その中で特にどういう分野をやりたいのか、もう少し踏み込んで考えて研究室を選ぶことをお勧めします。

(共同獣医学科 6年)

興味分野や将来などは、是非専門の先生やOBOGに聞いてみてください。En4年生の私からは、一つの観点として、1年間をどんな研究「生活」にしたいかを考えることをお勧めします。具体的には1.「研究の時間」2.「先生とのコンタクト」3.「学生同士の雰囲気」があります。

1.「研究の時間」；理系の知見(実験手法、論文、データのまとめ方など)を身に着けたい、その学問を学びたい人にとっては、研究に時間を割ける環境がピッタリだと思います。外部の活動(起業など)を中心に行いたい、他の勉強に力を注ぎたい人にとっては時間の拘束が少ない研究室の方が向いているかもしれません。

2.「先生とのコンタクト」；先生と相性の良さだけでなく、先生とよく相談するか、一人でどんどん行かれます。学生に合わせてくれる場合もあります。自分の過去(学校での勉強や活動など)を振り返って、自分に合う面倒見の程度を考えて見ると良いと思います。

3.「学生の雰囲気」；研究生活では、授業を行っている先生だけでなく、先輩や研究員の方にも教わること、影響を受けることがあります。モチベーションや取り組み方など、自分が真似したい環境や進みたい道を肯定してくれる環境にすることで、研究がはかどると感じました。

是非、研究室「生活」を考えてみてください。応援しています！

(環境資源科学科 4年)

私の研究室選びの軸は、3つありました。

①興味のある研究対象か ②研究内容の学術的・社会的意義 ③研究室の環境

①②私は3年生までの勉強の中で、野生動物や生態系の保護という重要性を強く感じました。そこで、生息調査等に貢献でき学術的にも重要な研究を考えた際、現在私が取り組んでいる画像解析の研究に行き着きました。

アドバイスとしては、研究室配属までに、研究内容と学術的意義（その研究が学問にどういった進展をもたらすか）および社会的意義（その研究が社会にどう貢献するか）を考えておくといよいでしょう。

③私は研究室の環境も重要視しました。自分の意志や考えを話すことのできる環境は、研究活動においてとても重要であるためです。具体的には、指導教員の先生や研究室の先輩と、研究内容の相談や雑談をさせて頂きました。

アドバイスとして、その際に指導教員の先生や先輩の研究内容についても大まかに把握しておく、自身の新たな興味が引き出されるかもしれません。

有意義な研究室選びが行えますよう、応援しています！！

(食農情報工学コース M2)

私が生物生産学科で研究室を決めるときに、班担任の先生から「研究を1人でどんどん進めたいタイプか、人と都度相談しながら進めたいタイプか考えてから自分に合う研究室を選ぶべき」という助言をもらったことを覚えています。研究室によって、先生や先輩と相談できる時間の多さや、研究を進めるペースがかなり異なると思います。私はこの助言のおかげで相談しながら進めたい派だと気付いたので、その後の研究室見学ではメンバー間のコミュニケーションの多さや進捗報告の頻度をよく質問していました。研究室に配属されると大学でのほとんどの時間を研究室で過ごすことになるので、研究テーマだけでなくメンバーや雰囲気が自身のモチベーションに大きく影響すると思います。生物生産学科は農業の幅広い分野の研究室があることも魅力だと思うので、研究内容のみで候補を絞らず、多くの研究室を比較してみてください。

最も合う研究室が見つかるよう、応援しています！

(生物生産科学コース M2)



3 今後の学習相談室の開室について

皆さんの先輩が、自らの経験を踏まえて学業上の様々な疑問や不安にこたえます！

- 相談例 -

大学生活のこと：日常生活の過ごし方、サークルやアルバイト、など
勉強方法のこと：物理学、数学、英語、その他の科目の勉強方法・対策、課題の進め方、スケジュールリング、など
履修登録のこと：履修計画、学生サポーターによる授業の感想、など
研究室のこと：研究室の選び方、研究の進め方、など
進路のこと：院進学、就活、など

学生サポーター一同、お待ちしております！



～6月の開室日～

6月1日 (水)	12:00-14:00
6月6日 (月)	9:00-11:00
6月8日 (水)	12:00-14:00
6月15日 (水)	12:00-14:00
6月21日 (火)	15:00-17:00
6月29日 (水)	12:00-14:00

～7月の開室日～

7月 4日 (月)	9:00-11:00
7月 6日 (水)	12:00-14:00
7月13日 (水)	12:00-14:00

場所：本館2階 22番教室



**予約不要です。直接おいでください。1人でも友達同士でもOKです。
マスク着用、手指消毒にご協力ください。**

★メール／オンライン相談も受付中です！★

メールかGoogleフォーム（左のQRコード）からお申込みください。
shugakushien@m2.tuat.ac.jp

※オンライン相談（ZOOM）は開室日に実施します。



※体験談のご感想、ご意見、取り扱ってほしいテーマ等ございましたら、以下のメールアドレスまでお知らせください！

東京農工大学 特別修学支援室 shugakushien@m2.tuat.ac.jp